

動機

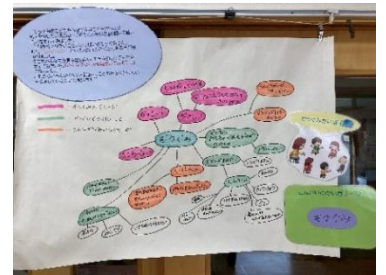
こどもたちからぞうぐみの図鑑を見たいという話が出ており、ぞうぐみ会議を通して、ぞうぐみのイメージやこれからやりたい事を4月に話合いました。虫や植物の名前を知りたかったり、魚を近くで見たかったりと調べたい・見たい・触りたいという意見が多く出ました。そこでぞうぐみの一年のテーマを『みんなでなんでも観察しよう』にし、キャンプでその取り組みを入れてみようという事になりました。

ねらい

- ・見たり触ったりして動植物の興味関心を広げる
- ・みんなで1つのオリジナルの図鑑を作って、探求を深める
- ・図鑑や虫メガネなど探求に沿った道具を使い、観察したり調べたりする楽しさを味わう

実践内容

- ・こどもたちと「ぞうぐみかいぎ」と題して話し合いを行う
内容…ぞうぐみになり、やりたい事を話し合う
→いろんなことに目を向けて観察したいという思いが強いことが分かる
保育ウェブにして目で見て分かりやすいように話し合いを進める
→みんなで1つのクラステーマを決める
「なんでも観察しよう」に決まる（保育者同士ではテーマとして「探求」にする）
- ・テーマに沿ってキャンプでやりたいことな何か？「ぞうぐみかいぎ」を開く
内容…花火やカレー作りも上がるが、自然が多い場所に出向くので
虫や植物を観察したい、捕まえたい、近くで観たいという意見が出る
→キャンプに活かせることを考え、図鑑を見るのが大好きな事もあり
図鑑を作りに発展する
- ・図鑑作りの内容決めを「ぞうぐみかいぎ」で話し合い
内容…動物を観たい、虫を捕まえて観察する、どんな植物があるのか調べたい
+キャンプ場での暮らしも載せることにする
（後輩にキャンプとはどんな事をするのか？残せるようにする）
- ・図鑑作りのためにする事を担任・副主任で話し合い、こどもたちに下ろす
内容…虫メガネを1人1つ用意し、観察がいつでも行えるようにする
虫かごを持って行き、一時的に捕まえて観察できるようにする
ハンドブックタイプの図鑑を購入し、Gごとにいつでも調べられるようにする
Gごとに使い捨てカメラを用意し、こどもの目線で調べたい物を撮る
→キャンプ先で実践



- ・キャンプで撮った写真を基に、図鑑の内容を話し合う
内容…その時撮った写真の気持ちや感想などエピソードを載せる
本物の図鑑を利用して何を撮ったか調べる



- ・図鑑作りを行う
内容…保育者はジャンルごとに写真を分けて、ページ決めを行う
保育者が下書きした文章をこどもたちがペンでなぞる
イラストも描き、図鑑に添える
→図鑑の完成 ✨



- ・キャンプ版画の話し合いをG毎に行う
内容…楽しかったこと・体験したことを話し合い、
どんなことを版画にしたいか決める
どのGも昆虫や植物は入れたいと意見が出る

- ・版画の作成、印刷を行う
内容…昆虫や植物を交えた風景に挑戦する
カマキリや蛾など思い思いに作る
バッタは緑、トンボは赤など観察したものの色を選んで印刷する



今後の予定

- ・クリスマス会の劇・・・「そうぐみかいぎ」を内容にし、こどもたちが話し合った事や図鑑づくりをした事を
経験発表のような形にする。
- ・卒園版画・・・探求をテーマにして興味を持ったことを版画にする（虫と遊んでいる自分等）
- ・卒園遠足・・・探求心を高められる場へ行く。スモールワールドで考え中。
使い捨てカメラを持って行き、図鑑作りのように撮影を検討中。
- ・卒園制作・・・後輩や職員にプレゼントするものを探求をテーマにして考案していく。

結果・まとめ

- ・こどもたちと一緒にクラステーマを設けた事で統一感が生まれ、自然と図鑑作りに発展し、キャンプをより一層
楽しめ、充実した時間となった。版画も観察したものを入れたい意見が多く、今年のぞう組ならではの版画となっ
た。
- ・こどもたちに話し合いの時間を設けて、保育者から提案するものではなく、こどもたち自身から知りたいもの、
やりたいことを発信してもらい、自立心や協同性を高める事が出来た。また、話し合いの機会を多く持つ事で意見
を1つにまとめる力や友だちと意見がぶつかった際に自分達で解決する力がついてきた。

・ 図鑑作りという大きな課題を設け、担任は完成までに話し合いを多く持ち、実行できるようにする為の準備が大変であったが、こどもたちが意欲的に楽しんで取り組んでくれたので良かった。

・ ぞうキャンプでは、自然に触れること、自分たちで動植物を探す見つけること、じっくり動植物を観察すること、動植物を写真撮影することなど、普段の保育では経験できないことを経験することが出来た。

・ 今回のテーマ決めや話し合いなど、子ども主体で行うことで、保育士自身も予測できない方向に行くこともあったが、子どもたちが自分たちで決めて実行、実践することが出来たので、子どもたちにとってとてもいい経験となった。

・ 意見にばらつきが出たり、行動が分散してしまった時に、こどもたち同士で「みんなで決めよう」「一緒にやろうよ」と誘ったり、方向性を戻そうとする声掛けがあり、みんなで1つの目標を定めることで協調性を深められ、クラスの一体感が自然と生まれ始めた。いろいろな行事に対する姿勢も“ぞうぐみみんなでやり遂げよう”という気持ちになり、決めてよかったと感じた。

それから・・・

ぞう組キャンプでの図鑑作りで子どもたち同士で話し合う事の大切さや、いろいろな物を細かく見て調べる事、何より自分たちで写真撮影をして現像し、出来上がった写真を全員で見ることの楽しさを知った子ども達は「もっとやりたい！」と活動の幅を広げ、活動し続ける事を決めました。

クリスマス会ではあの夏に経験したキャンプ活動、図鑑作りを題材にしたオリジナルの創作劇を作り発表し、その後も版画活動、お別れ遠足ではスモールワールドへ行き、今度は現実のものが小さくなった世界で改めて新しい気付きや発見をし、写真撮影、写真集作りを行いました。

そういったすべての探求活動の集大成として卒園制作の「生き物のキーホルダー」（プラ板）を制作して全園児、全職員にプレゼントしました。



ここでの楽しい活動を思い出しながら卒園しても、より探求の幅を広げて行って欲しいと職員一同願っています。